



いばラッキー

いきいき茨城ゆめ国体2019 潮来市開催

Vol.17 「いきいき茨城ゆめ国体」潮来市ラッピングカーの登場



Open Water Swimming
Triathlon
Rowing
ITAKO 2019
潮来市開催競技シンボルマーク



「あ！ おもしろい形ができた」

「いきいき茨城ゆめ国体2019」に向けて、潮来市で開催される「オープンウォータースイミング」「トライアスロン」「ボート」の3つの正式競技の実施PRのため、公用車2台に車両ラッピングを施しました。公用車2台のラッピングには、潮来市のPRキャラクター「あやめ」が3競技に取り組んでいるイラストや、いきいき茨城ゆめ国体の公式マスコットキャラクター「いばラッキー」のイラストがデザインされています。



市民の皆様にもっと国体のことを知っていただけるように、市内の各種イベントで活動し、潮来市開催競技をアピールしていきます。

いきいき茨城ゆめ国体潮来市実行委員会
 [事務局] 生涯学習課国体推進室 (中央公民館内)
 ☎66-0660 (潮来市日の出3-11)
<http://www.city.itako.lg.jp/kokutai/>

国体 潮来市

▶

検索

↵

Facebook・Twitter・Instagramでも情報発信を行っています。



学んだことを家庭で実践



「あ！ おもしろい形ができた」



「枝と枝を毛糸で巻くの難しいな」



みんなの作品が集まったフクロウ幼稚園

想像力・表現力を育てる

毎日の発見をさまざまな方法で表現している子どもたち。一つ一つの作品からそのときどきの心の動きを感じる事ができます。十一月に行われた市民文化祭では、身近にあるものを使った制作に挑戦しました。

年長児は秋の夜をイメージしたフクロウを作りました。フクロウの姿を表現するために色画用紙、毛糸、モールなど様々な素材を使い、また、園で育てた稲も利用できないかと考え、脱穀した稲穂の部分でフクロウの羽に、もみ殻を表題の文字をつくるのに使いました。

どの工程も子どもたちのイメージする力が必要です。子どもたちは素材の特性を知り、それを生かした使い方に気付き、表現の幅を広げていきます。本物のフクロウの姿を想像し、友達や保育者と「フクロウの目は光って見えるよね?」「虹色の羽にしたらかっこいいかな?」などと話し合いながら進めていく姿が見られました。試行錯誤しながらやっと完成すると、同じものが二つとない個性あふれるフクロウができあがりま

した。

年中児は、散歩に出掛けた時にふと見つけた木の実や枝を使って秋を表現した掛け飾りを作りました。イメージをどんどん膨らませ、素早く仕上げている子、友達の良い例を見て作り上げていく子、自分のこだわりを貫く子など様々な姿が見られました。保育者が声をかけたり援助したりする事で、さらに表現の幅を広げていくことができました。まだ使い慣れていないモールや毛糸、ボンなどを使っていると、「難しい...」と呟きながらも最後まで諦めずに作品作りに取り組むことができました。

身近にある色々な素材を使って作る多様な体験は、表現の幅を広げ、表現する意欲や想像力を育てる上で大きいものがあります。

お子さんが自己表現をしようとする気持ちを受け止め、必要な素材や用具を用意し、親子で表現する喜びを味わってみてはいかがでしょうか。

潮来市立延方幼稚園